

Tarinof dance company

本公演3年企画

LA JEUNE FILLE ET LA MORT

フランス・パリでの初演、凱旋公演を経て
リクリエーションを重ねた「死と乙女」の集大成

2024年11月13日(水)~15日(金)

あうるすぽっと (豊島区立舞台芸術交流センター)

生と死を
見つめる
3部作

第1章

Chapitre 1
d'une trilogie se penchant
sur la vie et la mort



TARINOF

Tarinof dance company 生と死を見つめる3部作

第1章 死と乙女

2024年11月13日(水)~15日(金)

	13:00	14:00	17:30	19:30
13日(水)				公開ゲネ
14日(木)		プレ公演		本公演①
15日(金)	本公演②		本公演③	アフタートーク付き

上演時間: 約70分 アフタートーク: 終演後約30分実施予定

各回30分前開場(当日券・受付開始は開演の45分前) 全席自由

【チケット料金】(税込価格)

本公演 《前売り》高校生以下 ¥2,500 / U25 ¥3,500 / 一般 ¥4,500

《当日》高校生以下 ¥3,000 / U25 ¥4,000 / 一般 ¥5,000

プレ公演 《前売り》高校生以下 ¥2,000 / U25 ¥2,500 / 一般 3,500

《当日》高校生以下 ¥2,500 / U25 ¥3,000 / 一般 ¥4,000

公開ゲネ 《前売り》高校生以下 ¥2,000 / U25 ¥2,000 / 一般 ¥3,000

《当日》高校生以下 ¥2,500 / U25 ¥2,500 / 一般 ¥3,500

高校生以下・U25のチケットご予約者は当日受付時に身分証をご提示ください。

【チケット予約】Peatix (右記QRコードを読み取りご予約をお願いします。)

9月1日(日) 10:00~ 予約受付開始

※前売りチケットは各回の前日23時59分までの予約となります。

それ以降のご予約は当日券扱いとさせていただきますのでご了承ください。

※やむを得ないキャンセルの場合は、お問い合わせメールまでご連絡下さい。

※受付完了後、予約詳細メールがご指定のメールアドレスに送信されます。

メールが届かない場合はカンパニーのお問い合わせメールにご連絡下さい。



【演出・構成・出演】長谷川まいこ

【振付・構成・出演】坂田守

【出演】安心院かな かとうりな 神渡茉莉 河野夏帆
仙石孝太郎 星野梓 吉田明莉

【舞台監督】丸山直己

【照明】丸山武彦

【音楽】フランツ・シューベルト 竹本 仁

【衣裳】富永美夏

【記録写真】飯田耕治

【映像収録】坪田篤之

【宣伝美術】宮村ヤスロ

【ヘアメイク】井上 唯

【制作】笠原由紀江

【助成】公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 [東京芸術文化創造発信助成]

【協力】G-Screw Dance Labo Studio Bee Peatix 加島寛美 藤本美緒 林揚羽 (庵城文藝部)

【主催】TARINOF株式会社

あうるすぽっと

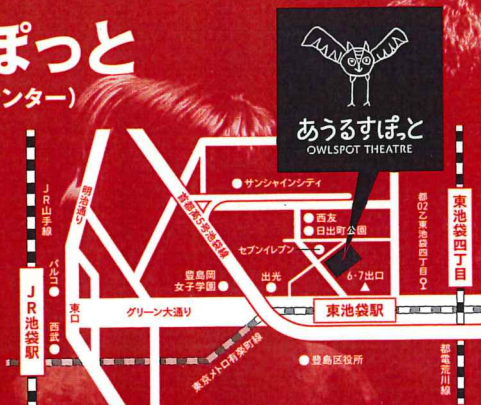
(豊島区立舞台芸術交流センター)

【住所】豊島区東池袋4-5-2

ライズアリーナビル2F

【電話】03-5391-0751

東京メトロ 有楽町線「東池袋駅」6・7番出口より直結
JR他各線「池袋駅」(東口)よりグリーン大通り直進徒歩10分
都電荒川線「東池袋四丁目」より徒歩2分
<https://www.owlspot.jp/>



【お問い合わせ】tarinof.inc@gmail.com

Tarinof dance companyのHP SNSは左記のQRコードよりご覧いただけます。

〈あらすじ〉

“大切な存在を失う”という共通点を持つ人々が「死と乙女」と名付けられた空間に集められた。経験を語り合う中で各々は自身でも未だ気がついていない深層心理の究明へと向かっていく。死と向き合い、生きている事を再認識し、彼らはそれぞれの答えに到達していく。

〈企画説明〉

カンパニー初となる3年間に渡る長期企画『生と死を見つめる3部作』。2024年は第1章「死と乙女」を上演します。

フランツ・シューベルトの楽曲にドイツの詩人マティアス・クラウディウスが歌詞を加えた歌曲で、病の床に伏す乙女と死神の対話が描かれた原作「死と乙女」。TARINOF版「死と乙女」のテーマは「生きること」です。ある意味全員が何者かに遺されている私たちにとって、この世界で「生きる」とは何なのか。原作における乙女にとっての死神という存在を再解釈することで、この普遍的な問いに向き合います。

フランス・パリでの初演、凱旋公演を経てリクリエーションを重ねた「死と乙女」の集大成、そして『生と死を見つめる3部作』の始まりを、是非劇場でご覧ください。

本公演3年企画『生と死を見つめる3部作』

第1章「死と乙女」(2024年)

第2章「若者と死」(2025年)

第3章「ロミオとジュリエット」(2026年)



坂田守

長谷川まいこ

河野夏帆

仙石孝太郎



吉田明莉

星野梓

安心院かな

神渡茉莉

かとうりな

〈Tarinof dance company プロフィール〉

振付家・舞踊家の長谷川まいこと坂田守が主宰するコンテンポラリーダンスカンパニー。2013年の設立以来毎年新作公演を発表し、長谷川と坂田の特異な身体性と繊細で力強い作品を通して、現代社会、日常に潜む違和感を多角的に描き出している。2人は共に幼少期からクラシックバレエとコンテンポラリーダンスを学び、長谷川はローザンヌ国際バレエコンクールに出場。坂田は玉川大学文学部芸術学科芸術表現コース在学中、イギリスのロンドンのLABAN CENTER ISPプログラムにて振付と舞踊を専攻。2013年文化庁新進芸術家海外研修員制度にてフランス・パリで2年7ヶ月活動。フランス・イタリア・セルビア共和国で開催された国際振付コンクールにてそれぞれ1位を受賞。帰国後は東京を拠点に、国内外で継続して作品を発表し、国内外ダンスフェスティバルへの参加、振付提供、指導、全国各地ワークショップ、ミュージカルや現代オペラ振付、養生堂へアショー、国際交流企画実施、他の振付家の作品にダンサーとして出演など、国やジャンルを超えた多彩な活動を展開。2022年TARINOF株式会社設立、坂田守は代表取締役社長 長谷川まいこは副社長に就任。



TARINOF